

2020年9月28日  
株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所  
(アンデルセングループ 広報室)

**TAK! の気持ちを込めて、  
新しくなった広島アンデルセンで初のデンマークフェア開催**

**2020年10月1日(木)～15日(木)**

株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所(本社:広島市中区、代表取締役社長 沼田 二郎)は、アンデルセングループの旗艦店 広島アンデルセンにおいて、建て替えオープン後 初めてのデンマークフェアを10月1日より開催いたします。

デンマークフェアは、アンデルセングループが企業活動のスローガンとして掲げる「お手本は、いつもデンマーク。」を集中してお伝えする機会として毎年6月に実施しており、今年で37回目を迎えます。

8月1日のオープンに合わせて、10月開催となった今年のデンマークフェアのテーマは、「TAK!」(デンマーク語でありがとう)。日常のささやかなことに楽しさや喜びを見出し、「TAK!」の気持ちを素直に伝えることがとても上手なデンマークの人たちをお手本に、広島アンデルセンから、たくさんの「TAK!」をお届けしたいと考えました。

デンマークのおいしさに TAK!、秋の実りに TAK!、  
そして、この夏のオープンを楽しみにしてくださっていたお客様に TAK!  
その思いを形にした商品がいろいろ揃います。

※その他の商品については、デンマークフェアリーフレットをご覧ください。

**デンマークのおいしさに TAK!**



**3種のスミアプロ  
¥1,000**

薄くスライスしたパンの上にバターを塗り、具材を彩りよくのせて楽しむ、デンマークの伝統料理。デンマークのおいしさ、秋の実りを彩った3種(ポークとりんご/ポテトとブルーチーズ/サーモン)をセットにしました。

<スミアプロに使っているパン>

**ソフトカーネラグブロート**

**¥650(1本)  
¥325(1/2本)**

ひまわりの種、亜麻仁、ごまが入ったスミアプロにおすすめのライ麦パン。



**デンマークバター(有塩・食塩不使用) 各¥1,100**

デンマークの豊かな自然の中、のびのびと育った乳牛の新鮮で良質なミルクを原料に、徹底した品質管理のもとつくられるプレミアムバター。フェア期間中の特別輸入価格でご提供します。



**秋の実りに TAK!**



**紅玉焼きりんご  
¥350**

北広島町にあるアンデルセンファームで収穫した紅玉りんごを使ったデニッシュ。



**りんごとポークのサラダ  
¥400/100g**

葉野菜にりんごと豚肉を彩りよくあわせ、ドレッシングにもりんごを使った、まさに秋サラダ。

本リリースに対するお問い合わせは、株式会社アンデルセン・パン生活文化研究所 広報室まで  
Tel:082-240-9409  
〒730-0045 広島市中区鶴見町2-19 ルーテル平和大通りビル  
※記載している価格は本体価格です。

デンマークのおいしさに TAK!  
そして、お待たせいたしました。

デンマークフェア開催に合わせて

2F レストラン「アンデルセンキッチン」開業

8月のオープン時より見合わせていた2F アンデルセンキッチンの客席利用を、10月1日にスタート。デンマークフェアならではのメニューもご用意し、長らくお待ちいただいた皆さまをお迎えいたします。

<デンマークフェア 特別メニュー>



自家製スモークサーモンのスメアプロ

¥1,700

デンマークいちばんの名物料理として、1967年オープン当時からご紹介しているオープンサンドイッチ。今年のデンマークフェアでは、自家燻製したサーモンを使ったスメアプロをご提供します。



広島アンデルセンのサーモン丼

¥1,300

1991年のデンマークフェアから続く定番人気メニュー。北欧の海が育んだフレッシュサーモンのおいしさを存分にお楽しみいただけます。

秋の空の心地よさに TAK!

つくって、遊んで、学んで、楽しい!

ヒュッグパークの青空ワークショップ

ヒュッグパークで初めてのデンマークフェア。暮らしを少し豊かにすることや、子どもたちの笑顔が広がるイベントを開催したいと手づくりを楽しむワークショップを企画しました。心地よい10月の青空の下、ヒュッグパークでのひとときをお楽しみください。

10月3日(土)

紙の楽器“ペパニカ”と“ピフポフ”をつくろう!

つくるのは、小さなアコーディオン風の紙の楽器「ペパニカ」(写真左)と、お子さまでもつくりやすい「ピフポフ」(写真右)。完成したら、みんなで一緒に演奏タイム!



<ペパニカ ワークショップ>

① 10:30~12:30 ② 15:30~17:30 参加費: 3,700円 ※定員各8名

<親子で楽しむ ピフポフ ワークショップ>

① 13:30~14:30 参加費: 3,500円 ※定員 親子8組16名

10月4日(日)

木を削ってバターナイフをつくろう!

マルニ木工さんで家具をつくる時に出る端材を使ってバターナイフをつくります。自分の手でつくるから、きっと日々の暮らしに馴染むこと間違いなし。



① 10:30~12:30 ② 14:00~16:00

参加費: 3,000円 ※定員: 各10名

# ANDERSEN GROUP

## 参考資料

### 広島アンデルセンにおける、デンマークフェア開催について

1968年に広島アンデルセンの開店1周年を記念して開催したデンマークフェア。1984年に再開後、現在に至るまで、デンマークの情報、イベント、サービス、商品の紹介を通じて、デンマークの豊かな生き方をお客様にお伝えしたいと願い、毎年大切に開催しているフェアです。そんなデンマークフェア開催に至るまでの、デンマークとの交流についてお伝えします。

### 戦後 「デンマルク国の話」との出会い

アンデルセングループの創業者 高木 俊介は1946年に戦地より復員。被爆し荒廃した広島で、勇気を与えてくれた本が内村鑑三の著した「デンマルク国の話」でした。それには1864年に戦争に敗れ、最も肥沃な土地を割譲されたデンマークが、一人の工兵大尉ダルガスによって復興してゆく様が記された本。「戦いに敗れても、国は亡ばない。」というこの話は当時の日本と二重写しになり、それがデンマークへの憧れの発端となりました。

### 1959年 デニッシュペストリーとの出会い

1948年の創業以降、本当においしいパンを追い求める中、パンの本場でその製造販売の実情を学ぶため、高木 俊介は初の欧米視察へ旅立ちます。その際、立ち寄ったデンマーク コペンハーゲンのホテルの朝食で食べたデニッシュペストリーのおいしさに感動し、何とかこのおいしさを日本の方に味わっていただきたい、と現地から日本に電報を送り、開発がスタート。これが、今に続くデンマークとの交流のきっかけとなった出来事でした。



### 1962年 デニッシュペストリーを発売

デンマークで味わったデニッシュペストリーのおいしさの実現に向け、デンマークからパン職人を招いたり、日本の技術者をデンマークに派遣するなど研鑽を重ね、日本で初めて商品化に成功。1962年10月、広島の直営店「本通サービスセンター」の店頭にて初めて並べられました。



### 1967年 「アンデルセン」オープン

「食卓に幸せを運ぶ」創業当初からの思いを具現化するため、広島本通にベーカリーとレストランの複合店「アンデルセン」をオープン。デンマークの童話作家 H.C.アンデルセンが童話を通じて世界中の人たちに夢と希望を与えたように、パンのある食卓を通じて幸せを届けたいという願いを込め、店名を「アンデルセン」としました。



### 1968年 デンマークフェア開催

アンデルセンの開店1周年を記念し、デンマークの食や暮らし、歴史、文化をご紹介するフェアを開催。それは、デニッシュペストリーとの出会いの後、デンマークの生活や文化、暮らしに触れる中で深まったデンマークへの敬愛の思いを形にしたものでした。



### 1970年 青山アンデルセン オープン

「東京・青山通りにコペンハーゲンの街角を持ってきました」のキャッチフレーズのもと、青山アンデルセンがオープン。その第一の役割は、本格的なデニッシュペストリーのおいしさを広くご紹介すること。木製オープン棚の一番目立つ場所にデニッシュペストリーを陳列し、デンマークのパン職人による実演やデンマーク人スタッフによる試食販売を徹底して行い、その認知度と人気を高めていきました。



# ANDERSEN GROUP

## 1978年 デザインイメージを北欧に求め、広島アンデルセン大改装

地上8階・地下1階の新館を増築し大改装。北欧の長く厳しい冬の寒さにも負けず、たくましく、素朴な中に、豊かな暮らしを追い求め、素敵に生きる姿勢に共感し、館内外で北欧を表現しました。その後、1988年に「ヒュッゲの街」、2002年に「The Bakery and more ーパンからはじまる、ヒュッゲな暮らし。」をコンセプトに改装。デンマーク語で人と人とのふれあいから生まれるあたたかな居心地のよい雰囲気という意味の「ヒュッゲ」を、全館で表現することに努めています。



## 1981年 デンマーク王国マルグレーテII世女王陛下ご来臨

デンマーク王国のマルグレーテII世女王陛下とヘンリック殿下が造船会社の進水式のために広島に来られることを受け、ぜひお二人にアンデルセンにお越しいただきたいと考えた高木 俊介はさまざまな行動を起こし、それを実現させました。わずか30分ほどの滞在でしたが、お二人から「日本の中のデンマーク」というお言葉をいただいたことは、アンデルセングループにとってこの上ない喜びとなりました。その感謝を旨に、その後もデンマークに学びながら企業活動が続けることで、1987年 フレデリック皇太子殿下、2011年 ヨアキム殿下がご来臨くださるという名誉にあずかりました。



## 1984年 デンマークフェアを再開

デニッシュペストリー、スメアプロ（オープンサンドイッチ）など、デンマークのおいしいものを中心に、文化や習慣、そこに暮らす人々のライフスタイルをお伝えすることで、お客様の豊かな暮らしづくりのお役に立ちたい…。「お手本は、いつもデンマーク。」を集中してお伝えする大切なフェアとして、毎年さまざまなテーマで開催しています。



## 1986年 創業者 高木俊介がデンマーク王国 名誉領事を拝命

中国4県（広島県、山口県、島根県、鳥取県）におけるデンマーク王国広島名誉領事となり、広島アンデルセン店内にデンマーク王国名誉領事館を設置。その後、その任は、(株)アンデルセン・パン生活文化研究所 社主の高木 誠一（1992年就任）、そして現在は、高木 暁子（故高木誠一夫人、2019年就任）に引き継がれています。



## 2002年、2005年 デンマークに桜を寄贈

2002年、デンマークへの感謝の気持ちと永きにわたる友好関係のしるしとして、首都コペンハーゲン郊外のガウノー城に桜の木150本を、また2005年には、童話作家H.C.アンデルセンの生誕200年を記念し、人魚姫の像がある市民の憩いの場、コペンハーゲン市内のランゲリニエ公園に200本の桜の木を寄贈。現在も桜の開花時期には「Sakura Festival」が開催されるようになり、日本とデンマークの文化交流の場となっています。



## 2008年 デンマークに「アンデルセン」を出店

創業60周年を迎えた2008年、これまでの友好に対する感謝の気持ちを伝えたい、デニッシュペストリーを里帰りさせ、デンマークの人々にも味わって、喜んでいただきたい、という思いから、デンマークに「アンデルセン」を初出店。現在は、2017年にオープンしたイスランズブリュッゲ店1店舗を運営しています。



## 2020年 全面建て替えを経て、広島アンデルセンオープン

10月1日より、新しい広島アンデルセンで初のデンマークフェアを開催。これからもずっと「お手本は、いつもデンマーク。」を全館で表現していきます。